

ゆるしの秘跡の意義 の再発見

ベロニカ・モンティエールは
ブエノス・アイレス出身のアルゼンチン人である。哲学を学び、プラタ国立大学の図書館で働いていた。

2006/09/11

私はいつも宗教を哲学や地理学、歴史学と同じく、ひとつの科目として捉えてきました。私は、かなり頑固な唯物論者でした。社会正義と労働者の自由は、社会階級を撤廃する革

命によって達成し得ると確信していました。

聖ホセマリアの教えを知り、考え方
が180度転換しました。いかなる
革命も、各自が神に向かい得る完全
な自由無くしては、有り得ないとい
うことが分かったのです。

キリスト者として形成を受けるため
のクラスに出席し始めたとき、最も
私の注意を引いたことの一つは、そ
こで出会った人達に見た喜びと良い
雰囲気でした。それは、私には理解
し得ないものでした。時が経つにつ
れて、私はゆるしの秘跡の意義を改
めて理解しました。それは、イエス
様に近くから従い、人を神に立ち返
らせ、神から受ける喜びを心に保つ
ための不可欠の“道具”なのです。神
の恩寵と私の努力で、この社会をよ
り正しい方向に変えることができる
ことを示したい思いでいっぱいにな
りました。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント <https://opusdei.org/ja-jp/article/yurushinomi-ji-noyi-yi-nozai-fa-jian/>
(2026/02/13)